

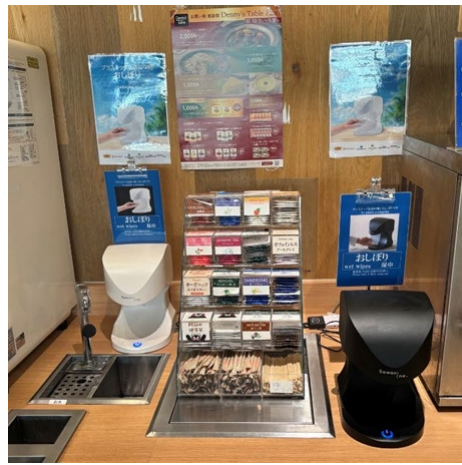
プラスチック削減を目的とした自動おしぼり供給機の導入

株式会社セブン&アイ・フードシステムズ (東京都千代田区)

- ✓ 2024年10月からホテル事業を展開する4社と連携し、プラスチック削減を目的として自動おしぼり供給機をファミリーレストランの一部店舗及び連携するホテルの飲食部門等において導入開始。

はじめたきっかけ

- ・グループの環境目標で掲げるプラスチック削減に関し、紙おしぼりのプラスチック包材に着目。
- ・導入前、紙おしぼりは主にドリンクバーに配置し、利用者に自由に取ってもらう運用としていた。しかし、一定数は開封されないまま座席に残され、結果、未使用のまま廃棄していた。
- ・そこで、プラスチック包材及び未使用のまま廃棄されるおしぼりの削減を目的として、利用の都度、未包装のおしぼりが供給される非接触型自動おしぼり供給機「SAWANNA（サワンナ）」を導入。



ホテル朝食会場の入口付近（左）とデニーズのドリンクバー（右）に設置されている自動おしぼり供給機

取組概要

- ・ファミリーレストラン「デニーズ」の一部店舗及び本部オフィス、リッチモンドホテルの一部店舗及びホテル日航つくば、ニッコースタイル名古屋、JALシティ名古屋錦、各館内の飲食店・宴会場等等に、SAWANNAを設置。

取組の成果と利用者の反応

- ・5か月間の取組で1.75トンのプラスチック包材の削減に繋がった。
- ・テーブルの上でゴミが散らばらなくなった（利用者の声）。
- ・プラスチック包材のゴミ、未使用おしぼりの廃棄の削減に繋がった（導入事業者の声）。

課題及び今後の取組み

- ・供給機器本体の素材も再生プラスチック100%への切り替えを検討。
- ・現状のおしぼりの素材はPETとレーヨンが50%ずつの割合であるが、これを2025年12月までに100%植物由来のおしぼりの導入完了を目指す。
- ・現状、電源供給方法は、コンセント式あるいはリチウム電池式であるが、災害時でも活用できるように、乾電池式の商品開発を検討。



手をかざすとおしぼりが自動で供給される